

「山口ゆめ花博基金」活用方針

1 「山口ゆめ花博」の成果と継承

- 「山口ゆめ花博」では、入場者数が目標を大きく上回り、交流人口の拡大、地域経済の活性化、県民活動参加への機運醸成など、様々な分野において、成果や波及効果を生み出すことができた。
- この成功は、山口市をはじめとする各市町、関係団体、企業など、様々な機関との連携と協力、また、多くの県民の参加により成し遂げられたものであり、その成果を一過性のものとすることなく、これを継承し、県全体の更なる活性化につなげていく必要がある。

2 基金活用の方向性

- 山口ゆめ花博の取組成果を活かし、その成果を将来にわたって地域に根付かせ、持続的な地域の活力を生み出す取組に活用する。
- 基金の活用にあたっては、山口ゆめ花博の成果継承に関する着眼点(例)を参考にするとともに、様々な地域の魅力を活用するなど、地域の実情を踏まえた取組とする。
- 取組にあたっては、県と市町が連携し、相乗効果を高めるものとする。

[着眼点(例)]

- 1 花と緑を活かした地域づくり・まちづくりの推進
- 2 県民活動の活発化と人材育成
- 3 地域資源（公園等）の新しい利活用

3 基金活用による取組

[基金造成額] 337,500千円

[基金活用期間] 4年間(2019年度～2022年度)

⇒基金終了後は自発的な活動を展開

[基金配分額] 県事業：市町事業＝1：1程度

【市町事業】

山口ゆめ花博の成果を地域づくりやまちづくり、地域課題の解決に活かすための、自由度の高い補助制度を創設し、市町の創意工夫による新たな取組を支援

- ・ 複数市町が連携し広域で取り組む事業も対象
- ・ ソフト事業を基本とし、取組の立ち上げを支援

【活用例】

- ・ 花と緑等のゆめ花博の成果を活かしたまちづくり
(賑わいの場づくり、福祉のまちづくり、観光の地域づくり 等)
- ・ ボランティア団体など多様な主体と連携したイベントの実施
- ・ 明治150年の取組を活かした歴史・文化遺産の活用 等

【県事業】

山口ゆめ花博の成果を継承・発展する取組を推進

- ・ 花きや森林の活用促進
- ・ 県民活動(運動)の活発化と人材育成
- ・ 地域資源(公園等)の新しい利活用 等

【活用例】

▽花きや森林の活用促進

- ・ 花きの活用機運を醸成させる取組
- ・ 花き需要を喚起させる取組
- ・ 森林に親しむ機会創出及び森林ボランティア活動を活発化する取組

▽県民活動(運動)の活発化と人材育成

- ・ ゆめ花博で活躍した「ゆめはなアクション」の活動を活かした取組
- ・ 多様な人材の参画による活動を活発化する取組
- ・ 地域で活躍する人材を育成する取組

▽地域資源(公園等)の新しい利活用

- ・ 公園をはじめとする地域資源を活用した新たな取組
- ・ 持続可能な活動を支える仕組みづくりを進める取組

『ゆめはな開花プロジェクト』の展開
【一体的な情報発信の実施】

